



札私幼

第154号 平成28年7月15日発行

《編集》

札私幼広報委員会

《発行責任者》

一般社団法人

札幌市私立幼稚園連合会

前田 元照

札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10

札幌市生涯学習総合センター内

☎ 671-3590 FAX 671-3591

平成28年度 定期総会報告

今年度の札私幼定期総会を5月20日(金)札幌ガーデンパレスにて開催致しました。丸谷副会長の司会進行のもと前田会長の挨拶に続き、来賓の皆様よりご祝辞を賜りました。



中村みどり振興委員長より、定足数の確認が行われ、出席者の中から幼保連携型認定こども園さつなえのもり園長・長谷川 右先生が議長に選任され議事進行となりました。



※議案第一号 定款変更の件

機構改革により法人の副会長が1名増え3名になることから、副会長の定数の範囲を変更する。

※議案第二号 平成27年度事業報告及び決算承認の件
事業報告について各委員会の委員長より報告がありました。

一般会計収支計算書決算報告と災害基金特別会計収支計算書決算報告があり監査報告後に賛成多数で承認可決致しました。

※議案第三号 理事選任の件

※議案第四号 監事選任の件

※議案第五号 役員の選任及び承認の件

賛成多数で承認可決されました。

※報告第一号 定款施行規則改正の件

平成28年度の機構改革による副会長、委員長、担当理事の定数及び新設委員会の事務分掌等の変更のため、定款施行規則を改正する報告がありました。

総会全ての議事が終了し、報告事項では任期終了の理事の皆さん、そして長きに渡り札私幼に貢献された、芝木捷子先生そして澤田喜實先生への感謝状・

記念品贈呈が行われ、最後に藪副会長による閉会の挨拶で今年度の定期総会は閉会となりました。

代表者会議報告

5月20日(金)定期総会の開催に先立ち札幌ガーデンパレスにて代表者会議を行いました。【これからの私立幼稚園認定こども園のあるべき姿】【これからの私幼団体のあり方】



をテーマに学校法人 あけぼの幼稚園理事長・園長の安家 周一先生を講師にお呼びしての講演会でした。新しい幼稚園の姿と課題新制度の特徴や子育てをめぐる現状と課題についてなどについて触れ、過去を知り・現状を分析し・未来を予想する、これらを見据える力が今後は必要になって来るなどの内容を交えた講演でした。

新執行役員の紹介

会 長 前田 元照 (百合が原幼稚園)

副会長兼総務委員長 (研究担当)

丸谷 雄輔 (札幌ゆたか幼稚園)

副会長 (札P連・広報担当) 藪 淳一 (大通幼稚園)

副会長 (振興・認定こども園担当)

中村 みどり (札幌白樺幼稚園)

振興委員長 相良 郁子 (ひばりが丘明星幼稚園)

研究委員長 芝木 孝満 (なかのしま幼稚園)

広報委員長 太田 真理 (しろいし幼稚園)

認定こども園委員長

吉田 深雪 (認定こども園新さつぽろ幼稚園・保育園)

北私幼担当理事 (政令担当理事・振興会長)

前鼻 英蔵 (西野桜幼稚園)

顧 問 芝木 捷子 (なかのしま幼稚園)

役員挨拶・就任挨拶

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 会長

前田元照



この度、札私幼会長を拝命し、3期目となります。会長職として、①先生方の一層の研修体制の充実、②各園課題となる人材確保策、③札幌市との連携による、保育の質向上を目的とした振興制度の実現の為にしっかり努力させていただきます。

60年間積み重ねてまいりました歴史の中、私は第12代会長となります。新制度が始まり、136園が私学助成、新制度の幼稚園、認定こども園を選択し、学法立・社福立とこれからますます多元化してまいります。

その当時、9名の設置者・園長先生が集い、桑園幼稚園の一室で園長会をしたのが札私幼発足の始まりです。それから30年後、社団法人立として認可を受け、今日に至るまで様々な課題を乗り越え、今がある事を私達は改めて初心に戻り感謝し、時代を先取り継承・発展させてまいります。

国からの情報をいち早くお伝えし、対策や課題について耳をしっかりと傾け議論をし、汗を流してまいります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 副会長

丸谷雄輔



この度、3期目の札私幼の副会長・総務委員長を仰せつかりました。総務委員長といたしましては、平成27年度から始まりました「子ども・子育て支援新制度」に対して、会員園の目線に立って諸問題に対応し、職責を果たしていく所存です。

また、今期も「研究委員会」の担当副会長として、会員園においての「保育の質向上」の為に、研究委員の先生方の英知を合わせ、「質の高い研修会」の企画運営に責任者として力を注いでいきたいと思っておりますので、会員の皆様のご理解ご協力、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 副会長

藪 淳一



新制度がスタートして1年余りがたちました。保育者の人材確保は年々厳しくなり、2年後には幼稚園教育要領の改訂も控えています。私立幼稚園を取り巻く環境がめまぐるしく変わっていく中、幼稚園団体としての発信力が、今まで以上に問われていると思います。また、保育料負担の軽減や子育て支援の充実など、保護者との連携なしには実現できません。副会長として、引き続き、広報委員会とPTA連合会を担当します。会員園の先生方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 副会長

中村みどり



この度、副会長を務めることになりました札幌白樺幼稚園の中村みどりでです。昨年までは振興委員長として、新制度スタートの年にあたって、他の役員の方々と共に市や行政機関への陳情等を行って参りました。一枠増えた副会長の担当は、振興委員会と新設された認定こども園委員会です。制度2年目となる今年は、色々な課題が浮き彫りとなってきており、どちらも調査・研究・課題の整理、要望や折衝など重要な役割があると思います。施設の類型が多様になる中、会員の皆さんの声に耳を傾け、適切な情報をお伝えし、人材確保・待機児童問題などの社会事象の中で、札私幼としての責務を果たして行きたいと思っております。ご指導並びにご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 振興委員長

相良 郁子



昨年度から新制度が始まり、幼児施設の大きな転換期を迎えることになりました。国は、待機児童対策と銘打って、大人の都合、政治の都合が優先している動きに危機感を覚える一人です。

国や市の方針にそのまま流されるのではなく、「一人ひとりの子どもに合った質の良い幼児教育の提供」のために、現場の声を大にして、行政に働きかけていかなければならないと思います。微力ながら、他の執行部の皆さん、区選出の振興委員の皆さんにお助けを頂きながら、精一杯務めさせていただきたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 研究委員長

芝木 孝満



この度、研究委員長を仰せつかりましたなかのしま幼稚園の芝木孝満です。園長就任と同時に札幌私幼研究委員長という大役を引き受けさせていただき、身の引き締まる思いです。若輩者の私

ですが、6年間研究委員に関らせていただいた経験と、研究委員会の先生方の力をお借りし、多くの先生方にご参加いただける研修会を精一杯企画、運営させていただきたいと思っております。ご理解ご協力、そしてご指導のほど宜しくお願い致します。

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 広報委員長

太田 真理



この度、2期目の広報委員長を仰せつかりました白石幼稚園の太田真理です。前期から広報委員会の新しい事業として加わった就職フェアも今年で3年目を迎えます。今年はタイトルを

「就職フェア ミライノトビラ～子どもとあそぼう！子どもとつুকろう！」と一新し、広報委員の先生方と

一緒に新たなフェアを作り上げていこうと思っております。

また、広報誌の発行に関しましても私私幼の活動がわかる内容、皆様の知りたい情報を届けられるような紙面づくりをしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 認定こども園 委員長

吉田 深雪



新制度施行二年目を迎え、移行園は、制度の運用において、加算・調整など新たな課題が見えてきたところではないでしょうか？今年度から移行する園、これから移行する園においては、制度

の内容についてまだまだ不安な点を抱えていらっしゃると思います。今年度より新たに設けられた、認定こども委員会では、新制度の運用について理解を深め、皆さまにわかりやすい情報提供、研修会を行っていききたいと思います。また、今年度も引き続き年三回の乳幼児研修を設け、現場での乳幼児の理解を深めていきます。

私自身不慣れな点が多いのですが、少しでも皆様のお力になれるよう努めてまいります。宜しくお願い申し上げます。

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 政令担当理事・振興会長

前鼻 英蔵



引き続き理事に就任させていただきました、西野桜幼稚園の前鼻です。

主に、政令指定都市私立幼稚園団体協議会と札幌私立幼稚園振興会を担当しています。

両方とも、札幌私幼にとっては外部渉外の仕事になります。直接的ではありませんが、それぞれ、政令指定都市20都市との協調、議連の市議の方との交渉・とりまとめと、重要な機能がありますので、しっかりと対応していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 事務局長

竹内 伸明



4月から札私幼事務局の一員となり、幼児教育という初めての分野に戸惑いながらも、皆様のあたたかいご支援のお陰で、3ヶ月を経過することができました。心より感謝申し上げます。少

しでも皆様のお役に立つことが出来るよう精一杯頑張ろうと思っておりますし、明るく元気な事務局でありたいと考えておりますので、今後とも皆様のご協力とご教示をよろしくお願いいたします。

新制度・認定こども園研修

札幌小暮ビル6階 カンファレンスルーム

今年新しく設けられた認定こども園委員会所管の研修会が6月8日に行われました。

子ども子育て支援新制度がスタートして1年が経過し、運営等について関心を持たれている先生方が多く、約120名が参加しました。(私学助成の園38園、新制度に移行した幼稚園・認定こども園31園)

第1部・2部共に実際に運営している幼稚園や認定こども園の具体例を元に進められ、自園の状況と照らし合わせながら話を聞いている先生も多かったようです。また、新制度の移行の有無に関わらず、人材確保や新人育成など、どの園にも共通して課題となっている点も多くありました。



研修内容

第1部 加算調整などについて

①指導監査について

札幌市子ども未来局子育て支援部施設運営課長 田中 敏之氏

②職員配置などについて (パネルディスカッション)

清明学園事務長

助言者 全国認定こども園協会副代表理事 (名寄大谷認定こども園理事長)

札幌市子ども未来局子育て支援部保育推進担当課長

札幌市子ども未来局子育て支援部保育推進担当課給付係長

コーディネーター 札幌市私立幼稚園連合会会長

③事務連絡 (札幌市子ども未来局)

・新制度移行に関する事務スケジュールについて

・小規模保育事業の募集について

第2部 園の運営、職員体制について (パネルディスカッション)

清明学園理事長・幼保連携型認定こども園せいめいのもり園長

東橋いちい認定こども園園長

全国認定こども園協会副代表理事

進行 認定こども園新さっぽろ幼稚園・保育園園長

①なぜ、施設型給付・認定こども園に移行したか

②人材確保

③職員の勤務体制

④職員会議、1号・2号こどもと3号こどもの交流について

白幡 義信先生

白井 慶子先生

渡邊 昌輝氏

若林 克衛氏

前田 元照先生

司馬 政一先生

押野 里美先生

白井 慶子先生

吉田 深雪先生

札幌幼児教育セミナー

6月6日(月)に、かでの2・7にて第一回札幌幼児教育セミナーが行われました。今回は学校法人千葉学園 千葉幼稚園 園長 岡本潤子先生をお招きし、「千葉幼稚園の保育実践 幼児教育は環境教育」をテーマに、講演して頂きました。遊びながら人間に備えるべき力を育てる為の、子どもを第一に考えた環境づくりについて例を挙げられました。物的環境として、①園庭にバランスよく体の部位を動かして遊べる遊具を設置する。②四季を感じ取れる草花や木を植え環境を整える。子ども達、保護者、地域社会とのつながりを大切にしていける人的環境の例では、①各学年にクラスを結ぶワークルームを設置している。②家庭教育も含め、保護者に教育活動に参加してもらっている。③高校生との交流会を設けている。等、映像や写真を使って分かりやすく話して頂きました。また、地道な実践が園を創り、その実践を積む私たち保育者一人一人の、感

じる・気づく力が重要になってくる為、保育者自身が常日頃感性を高めるための努力が必要であると話されました。日々の保育の中で、子どもの変化を敏感にキャッチできているか見直すきっかけになった先生も多かったようです。参加された先生達は具体的な実践例に興味を持ち、真剣にメモを取る姿が見られました。今の子ども達に何が必要か考え、遊びを深めていくための環境を整えていくことがいかに重要かを実感する時間となりました。



政令指定都市私立幼稚園団体協議会報告

第56回政令指定都市私立幼稚園団体協議会千葉大会が、「生きる力を育む幼児教育」～小さな手に大きな未来を～というテーマのもと、6月30日(木)・7月1日(金)の日程で行われ、前田会長・丸谷副会長・藪副会長・中村副会長・相良振興委員長・芝木研究委員長・太田広報委員長・吉田認定こども園委員長・前鼻政令担当理事・芝木顧問・竹内事務局長・小林P連会長の12名が参加しました。

1日目は、各政令指定都市の行政報告の後、基調講演が行われ、「現代の子どもに欠けるものー今の子どもが見えていますかー」という演題で千葉敬愛短期大学学長/千葉大学名誉教授の明石要一先生の講演がありました。

2日目に行われた分科会協議では、中村副会長と相良振興委員長、吉田認定こども園委員長が『「子ども・子育て支援新制度」施行2年目の現状と課題』について発表しました。札幌市における施設の現状、新制度に於ける市の対応とこれまでの取り組み、新制度移行園の現状、課題と今後の方向性について具体例やデータを交えて発表し、他都市との情報交換を行いました。

第56回政令指定都市私立幼稚園団体協議会
千葉大会プログラム

第1日目

1. 開会式
2. 行政報告
3. 基調講演「現代の子どもに欠けるものー今の子どもが見えていますかー」
講師 千葉敬愛短期大学学長/千葉大学名誉教授 明石 要一氏

第2日目

1. 各分科会
第1分科会 (行政・振興)

「幼児教育の現状と課題」

講師 文部科学省 初等中等教育局 幼児教育課
成松 英範氏

第2分科会 (経営)

「子ども・子育て支援新制度」施行2年目の
現状と課題
意見発表 札幌市・千葉市

第3分科会 (研究)

「子どもを真ん中に、保護者と共につくる保育環境」
～生きる力を育む保育を保護者とわかり合うために～
講師 千葉大学教育学部 准教授 砂上 史子氏

第4分科会 (PTA)

「幼児期の子どもを持つ保護者の子育て支援を考える」
講師 千葉敬愛短期大学 ゼネラルサポーター
佐久間 敦子氏

第5分科会 (事務局)

各団体事務局の情報交換



P連ふれあい交流報告



札幌市私立幼稚園PTA連合会のふれあい交流会が7月5日(火)につどむで開催されました。この催しは、「SS(スタートストロング)運動」の署名活動の決起集会でもあります。開会式には、市議会の私立幼稚園振興議員連盟の皆様が来賓として出席して下さいました。

今年は91チームが参加し、例年よりもハイレベルな戦いとなり、大変盛り上がりました。

大会運営に携わっていただいたP連役員の皆様、ありがとうございました。なお、玉入れの上位5チームを掲載致します。順位の詳細は、札幌P連ホームページにてご確認ください。

優勝	札幌白樺幼稚園	サツシラドリーム②
2位	茨戸メリー幼稚園	アンパンマン
3位	札幌白樺幼稚園	サツシラドリーム③
4位	北都幼稚園	HOKUTO II
5位	さわらび幼稚園	一松

「SS運動」の署名にご協力を！

札幌市私立幼稚園PTA連合会では、従来のイコール運動に代わり、昨年度から「SS運動」の署名活動を始めました。SSは、スタートストロング(Start Strong)の頭文字。「人生の始まりこそ力強く！」という思いが込められています。

幼児期の学びが、その後の子どもの発達や人生に大きな影響を及ぼすことは、国際的な常識となりつつありますが、残念ながら、日本の幼児教育関係予算は、いまだ諸外国に比べ低水準です。だからこそ、札幌市には幼児教育の重要性を強く認識してもらい、国の水準以上の惜しみない投資をしてほしいと考えています。それは、保護者の保育料負担の軽減につながります。

具体的には、私学助成の幼稚園の場合は、就園奨励費の拡大、新制度の幼稚園や認定こども園の場合は、札幌市が条例で定める利用者負担額の減額を実現しようというものです。昨年度は、おかげさまで43,316名分の署名が集まりましたが、今年度は、昨年以上をめざしています。P連非加盟園でも保護者以外の方でも構いません。教職員のみならず、ぜひ署名のご協力をお願いいたします。

札幌市が「幼児教育に力を入れている街」になるよう、「SS(スタートストロング)」を合言葉に運動していきましょう。子どもたちの未来のために！

権限移譲要望書提出

札幌市私立幼稚園PTA連合会執行部は、札幌市長宛に「私立幼稚園等の認可権限等の移譲に係る協議を求める要望書」を作成し、3月28日、村山子ども未来局長に手渡しました。

新制度の法改正により、幼保連携型認定こども園の認可等の権限は、札幌市に一元化されましたが、新制度に移行した私立幼稚園と幼稚園型認定こども園の認可等の権限は、北海道に置かれたままで、私たちは、道と市、双方とやり取りをしなければなりません。また、権限移譲が実現すれば、幼児教育行政と保育行政の一体的な推進が図られ、新制度の総合的かつ効率的なデザインを推進することが、可能になると考えられます。

要望書には、「札幌市において幼稚園等の認可等と助

成法に基づく幼稚園等への補助が可能となるよう、北海道等の関係機関と権限および財源の移譲に向けた協議をしていただきたい」と記載しております。実現に向けてのハードルは低くはありませんが、執行部としてじっくりと交渉していきたいと考えております。



園紹介

ア ラ カ ル ト



【篠路光真幼稚園】

園長 北村 幸江



こんにちは。篠路光真幼稚園です！

札幌市北区篠路にある「篠路光真幼稚園」は、創立48年、理事長が交代して学園名が変わって20年目の節目の年です。

設立当初はJR篠路駅の近くに園舎があったのですが、現在は上篠路の住宅街に位置しております。子ども達が十分に活動しやすい園舎と広いグラウンドが自慢の一つです。

園の教育活動に関して少しご紹介いたします。当園で子ども達に大事に指導しているのは、「表現活動」です。様々な表現方法を身に付け、就学までに出来ることを一つでも多く身に付けていくこと、幼児の時代に体験を多く持つことが、子ども達が育っていく人間形成の基本となり、大きな太い根となるよう願って、日々の教育活動を行っております。

また、その教育活動の充実のために、教材研究には力を入れ、当園独自の教材も作ってきました。音楽活動の歌唱指導の年齢別の指導や、楽器の指導などにも熱心に取り組み、子ども達はその成果を上げて就学へと進んでいます。

絵画制作も、研究と反省を繰り返し、現在の在園の子ども達が今までのカリキュラムで成果を上げられるか、創意工夫を重ねて取り組んでいます。

そして、大いに体を動かし、歩くこと、走ること、

体操も毎日継続することで体得することが子ども達の自信と達成感につながり、次への意欲になっています。水泳にも通い、水を嫌がらず、水の中で活動することを楽しむ子どもたちを育てています。

私たち大人が、子ども達の成長と達成感獲得のために出来ることの一つに環境設定があります。それは、幼稚園の環境を整えるだけではなく、ご家庭でも取り組んで頂きたいことなので、園長からの手紙や話をする機会を作っては、同じことを繰り返し話して、今、幼児の時期の大切さや、この時期の子育てを十分にご家族で楽しんで頂きたいことを伝えていっています。

子ども達の活動も、時間を意識して行動できる子どもたちを育てています。限られた時間を有効に使うためには教師の配慮だけではなく、子ども達自身が時間を意識して行動することが大事になります。入園してから少しすると、時計を使って指導をしています。

また、挨拶や話を聞くこと、姿勢を保つことを身につけられるように指導しています。

いろいろと取り組んでいることをお知らせ致しましたが、きっと、どちらの園でも行っていることには大差はないのでしょうか。しかし、今、育てている子ども達が将来の日本や世界を背負う人になっていくことを思い、その責任をしっかりと受け止め、職員一同で子ども達の教育に関わって参ります。





連 台 会 日 誌

札幌市私立幼稚園連合会の主な動き
(予定を含む)

- 4月4日(月) 決算監査
- 4月13日(水) 認定こども園委員会
- 4月20日(水) 理事会・総務委員会
- 4月25日(月) 研究委員会プロジェクトチーム会議、広報委員会、
- 4月26日(火) 振興委員会
- 5月17日(火) P連定期総会
- 5月20日(金) 定時総会・理事会・総務委員会・代表者会議
- 5月27日(金) 研究委員会、広報委員会
- 6月3日(金) 研究委員会プロジェクトチーム会議
- 6月6日(月) 札幌幼児教育セミナー
- 6月8日(水) 新制度・認定こども園研修会
(札幌小暮ビル)
- 6月15日(水) 理事会・総務委員会
- 6月16日(木) 研究委員会、公開保育説明会
- 6月20日(月) 振興委員会

- 6月21日(火) 札幌市幼児教育講演会(ちえりあホール)
- 6月29日(水) 広報委員会
- 6月30日(木) 政令都市私立幼稚園団体協議会千葉大会
～7月1日(金)
- 7月5日(火) P連ふれあい交流会(つどーむ)
- 7月12日(火) 乳幼児研修(かでる2・7)
- 7月26日(火) 新規採用教員宿泊研修
～29日(金)
- 8月18日(木) 政令都市私立幼稚園団体協議会次世代研修
会北九州大会
～19日(金)
- 8月27日(土) さっぽろ・ようちえん・こどもえん・にこ
にこフェスティバル
(市立大通高校、市立中央幼稚園)
- 9月24日(土) 就職フェア(ホテルさっぽろ芸文館)
- 10月28日(金) 教育研究大会(札幌市民ホール他)
～29日(土)

就職フェア 開催のお知らせ

ミライノトビラ

～子どもとあそぼう！子どもとつくろう！～

日時 9月24日(土)
12時30分～15時30分

場所 ホテルさっぽろ芸文館
3階ロイヤルホール
(札幌市中央区北1条西12丁目)



広報委員の紹介

副委員長 大村 紋子

委員 鈴木 眞弓

(札幌みづほ幼稚園)

委員 米永 桃子

(美しが丘幼稚園)

委員 天保 聖子

(澄川幼稚園)

委員 榎本 真樹

(西岡ふたば幼稚園)

委員 杓澤 泰子

(なかのしま幼稚園)

(札幌国際大付属幼稚園)



新年度が始まり、子ども達も先生達も新しい生活に慣れて来た頃だと思います。先日、札私幼の区別研修会に参加し、養成校の先生の話聞く機会がありました。研修テーマは子どもの主体性についてだったのですが、講師の先生が元幼稚園教諭ということから1年目の経験や思い出を交え、若い先生達に向けての話から始まりました。右も左もわからない状態の中日々頑張っている1年目の先生達はちょうど今、上手く行かずに悩んでいたりと、不安になっている時期だと思います。そんな時期に養成校の先生から応援に

なるような話ややる気を持てるような話をして頂いた事が嬉しく思う研修会でした。その中で、保育は大変だけれど丁寧に子どもと関わる事、仕事をする事が大切ですねと聞き、「丁寧」という言葉は良く使いますがそれを具体的に表す事は難しいと思います。しかし、丁寧にしようと意識をしたり、丁寧とはどういうことかな？と考えたり振り返る事の繰り返しから、身についていくのではと自分なりに考えました。丁寧に子どもと向き合う保育を頑張る事はもちろんですが、札私幼の広報誌も一つ一つ丁寧に皆様に届けたいと思います。広報誌並びに就職フェアなど広報委員会の活動を今年度もよろしくお願い致します。

(副委員長 大村 紋子)

